

福岡県薬物乱用防止第六次五か年戦略(概要)

本部の概要等

福岡県薬物乱用対策推進本部

【目的】行政機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的な対策を強力に推進する。

【組織】国、県、政令市の取締機関、教育機関、刑事司法関係機関、行政機関等の33機関で組織。

薬物乱用防止五か年戦略

【概要】県における薬物乱用問題の早期解決に向け、関係機関で構成する本部が決定する指針。本戦略のもと、各機関が事業を実施。

【期間】第六次五か年戦略:令和6年度～令和10年度

◎平成30年度に第五次五か年戦略を策定し、覚醒剂等薬物乱用の終息に向け関係機関が連携して対策を進めてきた結果、一定の成果が得られた。

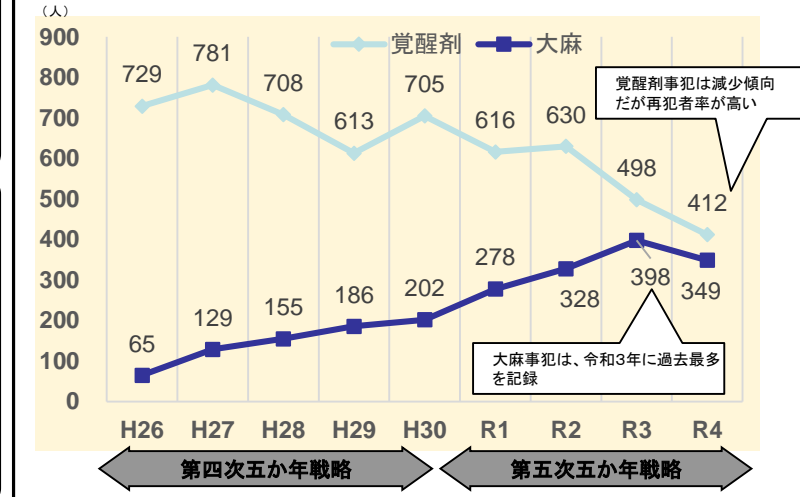
- 覚醒剂事犯の検挙者数は減少傾向。
- 危険ドラッグに起因する救急搬送者数は平成29年以降、低水準で推移。

◎しかし、全体としては依然として厳しい情勢である。

- 大麻事犯による検挙者数は若年層を中心に平成27年以降継続して増加傾向がみられ、令和3年の検挙者数は398人と、過去最多となった。(うち約7割が30歳未満の若年層)
- 覚醒剂事犯の検挙者数は減少傾向で推移しているが、その依存性の強さから再犯者数が多く、本県の再犯者率は、全国よりも高い水準で推移している(令和4年は本県80.6%、全国67.7%)。
- 危険ドラッグについても健康被害が報告され、販売店舗に復活の兆しが見え始めている。
- 近年若年層での市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)による乱用・依存の広がり社会問題化している。

◎このため、「第六次五か年戦略」を新たに策定し、引き続き総合的かつ効果的な対策を強力に推進する必要がある。

福岡県の実験者数等



本県の現状

啓発

- ・若年層による大麻の乱用拡大が進む中、若年層の目に触れやすい広報媒体を活用した広報・啓発を強化する必要がある。
- ・近年若年層での市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)による乱用・依存が広がっており、医薬品適正使用を推進する必要がある。

取締り

- ・大麻事犯の摘発者が後を絶たず、早期の沈静化が必要である。
- ・サイバー空間を利用した密売方法の巧妙化・潜在化が進んでおり、これらの供給源となる薬物密売組織を壊滅するとともに、需要側の乱用者に対する取締りを強化する必要がある。
- ・未規制物質や多様化する薬物乱用形態に対する規制や取締りを徹底する必要がある。

再乱用防止

- ・薬物乱用者に必要な支援・回復を提供するため、関係機関との連携を強化し、適切な医療機関や民間団体につなげる必要がある。
- ・薬物依存症者への医療提供体制を充実させるとともに、薬物依存症の正しい知識と理解について社会に浸透させ、長期的支援を続ける必要がある。

本県の課題

若年層を中心とした社会全体への啓発活動の強化・推進により、覚醒剂、大麻等違法薬物及び市販薬の乱用の未然防止を目指す。

暴力団等薬物密売組織の壊滅、巧妙化・潜在化する薬物密売への対処及び多様化する乱用薬物に関する監視指導・取締りの強化により、覚醒剂、大麻等違法薬物の供給遮断を目指す。

医療機関や民間団体などとの連携を強化し、薬物乱用者の治療、回復及び社会復帰へ包括的かつ継続的に「息の長い支援を実施することにより、再乱用のない社会を目指す。

目標

若年層を中心とした社会全体への啓発活動の強化・推進により、覚醒剂、大麻等違法薬物及び市販薬の乱用の未然防止を目指す。

暴力団等薬物密売組織の壊滅、巧妙化・潜在化する薬物密売への対処及び多様化する乱用薬物に関する監視指導・取締りの強化により、覚醒剂、大麻等違法薬物の供給遮断を目指す。

医療機関や民間団体などとの連携を強化し、薬物乱用者の治療、回復及び社会復帰へ包括的かつ継続的に「息の長い支援を実施することにより、再乱用のない社会を目指す。

目標達成のための取組

- (1) 小・中・高等学校等における薬物乱用防止教室の開催など大麻等薬物乱用防止に関する指導・教育の充実強化及び大学、専修学校等に対する啓発の推進
- (2) 有職・無職若年層に対する啓発の強化
- (3) デジタルツール等を効果的に活用し若年層を中心とした県民への規範意識向上に向けた大麻を中心とした広報啓発活動の推進
- (4) 国際的な人の往来の増加に向けた海外渡航者、訪日外国人に対する広報・啓発活動の推進

- (1) 暴力団、準暴力団等薬物密売対策の推進
- (2) 大麻をはじめとする薬物乱用者に対する取締りの徹底
- (3) インターネット等サイバー空間による密売等の監視・取締り
- (4) 条例に基づく未規制物質の特定危険薬物指定と、多様化する薬物の種類・使用形態に応じた分析体制の強化
- (5) 医療用麻薬及び向精神薬等の正規流通に対する指導監督の徹底
- (6) 薬物密輸入阻止に向けた関係機関が連携した薬物取締りの徹底

- (1) 薬物依存症に関する正しい理解の促進
- (2) 医療機関、民間団体など関係機関が連携し、薬物乱用者を回復、社会復帰につなげるための「息の長い支援」の実施
- (3) 薬物乱用者の特性に応じた効果的な指導・支援の推進による再乱用防止と社会復帰支援
- (4) 薬物依存症者に対する医療提供体制の充実と就労等の支援
- (5) 薬物乱用者の家族に対する相談体制・支援等の充実と周知

第六次戦略のポイント

- ・デジタルツール等の媒体を効果的に活用した大麻等違法薬物の広報・啓発の強化
- ・サイバー空間を利用した薬物密売等の流通に関する需要側と供給側両面からの取締りの強化
- ・薬物依存症者の社会復帰支援体制の充実による息の長い支援の強化